

2021年2月10日

各位

三井住友ファイナンス&リース株式会社

古民家宿泊施設「HOTEL CULTIA 太宰府」新規宿泊施設 営業開始のお知らせ

三井住友ファイナンス&リース株式会社(代表取締役社長:橋 正喜、以下「SMFL」)は、西日本鉄道株式会社および株式会社福岡銀行と共同出資する株式会社太宰府 Co-Creation が古民家宿泊施設「HOTEL CULTIA 太宰府」に新たに2棟の宿泊施設を開業することになりましたのでお知らせします。営業開始は2021年3月27日(土)を予定しています。

「HOTEL CULTIA 太宰府」は第一弾となる古民家宿泊施設を2019年10月4日(金)に開業しました。営業開始以来、太宰府の歴史や文化を感じられる施設として注目を集め、特に今年度はコロナ禍において、少人数分散型でソーシャルディスタンスが保てる施設として、多くのお客さまにご利用いただいております。

今回新たに営業開始する2棟は客室を計9室備え、それぞれの棟を「好古亭(こうこてい)」と「梅花(ばいか)」と名付けました。「好古亭」は主屋が大正15年、一部は明治前期に建築された歴史ある建物で、太宰府市の「歴史的風致形成建造物」にも登録されています。棟名は、平安時代の歌人、小野好古の名前に由来し、「古(いにしえ)を好む」にもかけています。「梅花」は元号「令和」の命名に大きく関係している平安時代の歌詠の会「梅花の宴」に由来します。

本事業は太宰府天満宮周辺の古民家をリノベーションし、趣のある上質な宿泊施設として提供することで、まちの回遊性の向上や滞在時間の増加を図り、太宰府のブランド向上やさらなる賑わい創出を目的としています。SMFL は、リノベーションに伴う内装資金へのファイナンス提供や宿泊施設・厨房・レストランに導入される機械・設備などをリースします。また、これらファイナンスサービスの提供に加えて、SMFL および株主のネットワークを通じて、観光資源・移動手段における各種開発、セールスプロモーションや旅行商品販売による誘客など、事業活動面でも本事業をサポートし、より付加価値の高いサービス提供に貢献していきます。

SMFL は、SDGs経営を成長戦略と位置付け、そのなかで地方創生を注力分野の一つとして掲げています。旧来のまちなみを活かし、地域の風情・景観に配慮した古民家再生の事業パートナーとしての参画やリースをはじめとするさまざまなファイナンスサービスの提供を通じて、持続可能な地域社会の創造に貢献していきます。

以上

【本件に関するお問合せ先】

企画部 広報 IR 室

山本

TEL 03-5219-6334